

経営比較分析表（令和6年度決算）

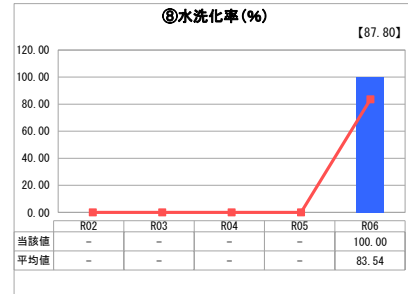
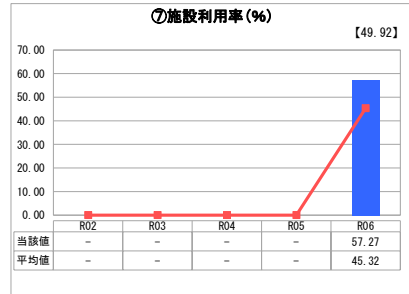
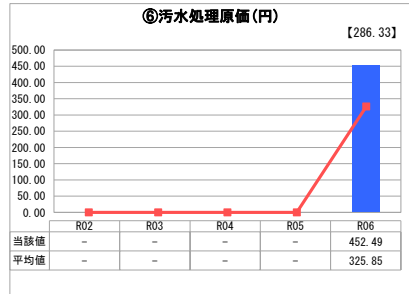
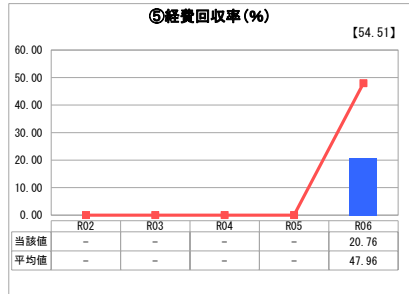
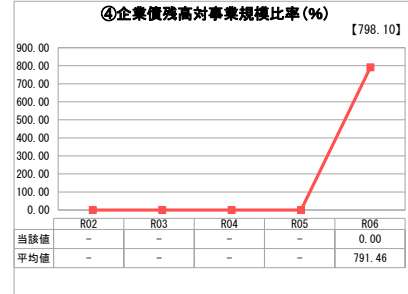
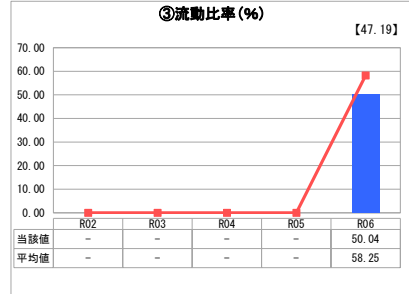
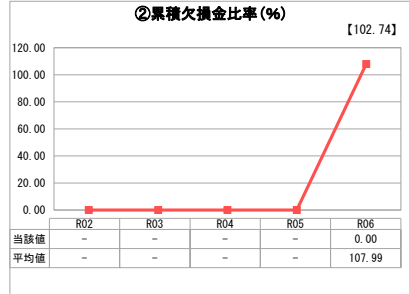
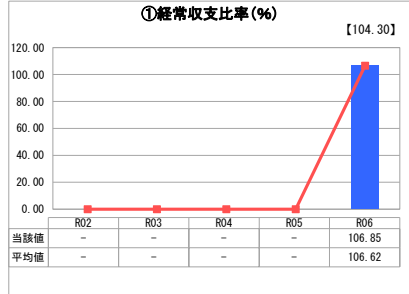
埼玉県 毛呂山町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.77	1.21	99.76	1,925

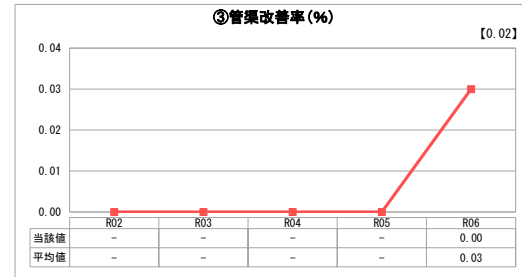
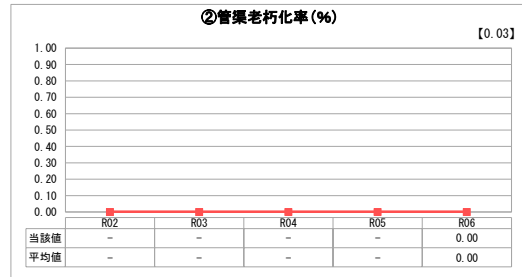
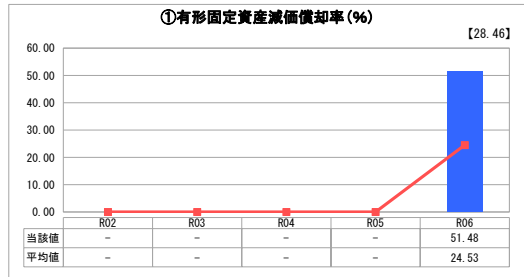
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,043	34.07	940.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
387	0.24	1,612.50

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常的収支比率・累積欠損金比率
 ・経常的収支比率は100%を上回っており、累積欠損金比率は0%となっており概ね良好である。しかしながら、一般会計からの繰入金に依存している状況である。

流動比率
 ・流動比率は50.04%と基準値(100%)を下回っている。しかしながら、流動負債の大部分を一般会計からの繰入金を財源とする企業債償還金で占めていることから、支払能力に問題ないと考えられる。

経費回収率
 ・経費回収率は20.76%であり償還金や費用不足を一般会計からの繰入金により賄っている状況。
 原因としては使用料の減少、老朽化による修繕費の増加が大きな要因と考えられる。利用料改定の検討による経費削減等に努め、回収率の改善を図る必要がある。

汚水処理原価
 ・汚水処理原価は452.49円と平均値を上回っている。人口減少により処理量が減少したことが要因である。

施設利用率
 ・施設利用率57.27%と平均値を上回っている。人口減少により処理量が減少したことが要因である。将来的な更なる人口減少等を考慮し施設規模の縮小を検討していく必要がある。

水洗化率
 ・企業会計への移行とともに接続化人口の算出方法の見直しをしたことで水洗化率100%となった。用水域の水質保全が図られている。今後も啓発等により接続率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は51.48%となっており、平均値を上回っている。これは法定耐用年数を超えた機械設備が多く、更新工事が遅れていることが原因である。今後は計画的に更新工事を行っていく必要がある。

管渠については法定耐用年数を超えた管渠がないため更新工事を行わず日常点検を行っている状況である。

全体総括

経費回収率をはじめとする経営の健全性・効率性を示す指標において、農業集落排水使用料収入だけでは賄えていない状況であり、一般会計からの繰入金に大きく依存している。これらの改善の為、料金改定をはじめ処理施設の統合や公共下水への接続等、抜本的な対策を検討し経営状況の改善を図る必要がある。
 また、最適化整備構想を基に更新費用の平準化、機器の効率的な維持管理を行うことで生活環境の維持・向上に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。